



的外れの議論では？—暫定税率の攻防の中で

—日本の揮発油税は諸外国に比べ遥かに安いのです—

道路特定財源の「暫定税率」の存廃は間もなく与野党間の激しい論戦の材料になるでしょう。

それにしても、これまでの議論は私にとつて、なんとの外れで、しかも党利党略選挙目当ての理論展開に終始したものと思わざるを得ませんでした。

確かに誰にとつても物価は「安いほうがいい」に決まっています。

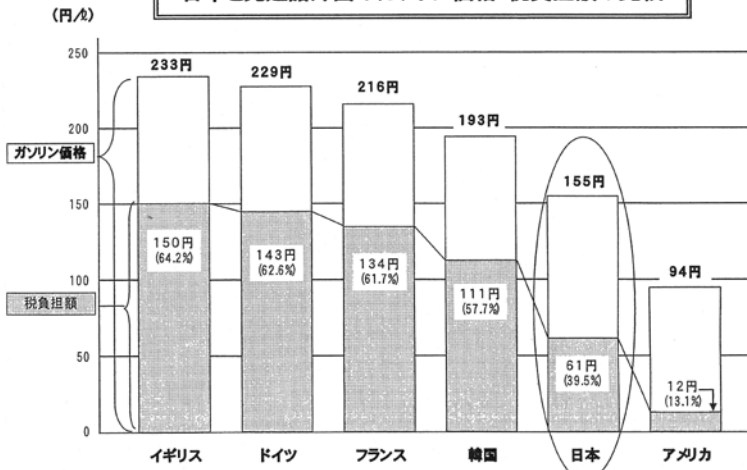
しかし、例えば「禁煙」が先進国の共通した社会常識となつて以来、「煙草の値上げ」は恰も社会正義として捉えられ、消費者団体ですら値上げ反対を叫ぶものはおりません。

既にヨーロッパやオーストラリアでは20本入り一箱1000円の高値になっているとのことであり、恐らく斯くも高額にした根拠は煙草による健康被害を考慮しての政治的判断でありましょう。

実は下記の比較表を見れば一目瞭然ですが、この「煙草」と同様にヨーロッパ諸国のガソリンの値段はわが国に比べ遥かに高い実態をご存知でしょうか。恐らく殆どの方々には予想外の価格と思われるでしょうが、その政策にはお国の思想が垣間見えるのではないのでしょうか。

それでは内訳を見てみましょう。イギリスのガソリン価格に占める税金は我が国の2・46倍、1ℓ当り実に150円の税金が含まれているのであります。若

日本と先進諸外国のガソリン価格・税負担額の比較



(注1) 2007年11月時点にA調べ (韓国は2007年4月～6月時点、日本は直近(石油情報センター調べ、2007年12月第3週))
 (注2) 日本の税負担額(61円) = 揮発油税(48.6円) + 地方道路譲与税(5.2円) + 消費税

し我が国がイギリス並みの税を課したなら恐らく暴動、更に全ての経済活動がストップすることでしょう。ヨーロッパ諸国が軒並み高いガソリン税を許容しているのも、近年叫ばれているCO2を初めとする環境保護に対する熱い思いが前提となった税制であると理解します。

1ℓ当たり24円の暫定税率の存続に口角沫を飛ばして反対する民主党の「地球環境」政策は言葉だけのものでしょうか。どこまで国民に媚を売れば気が済むのでしょうか。もう少し高次元にたつての論議に私達は期待するものであります。勿論、自民党も道路財源が欠如すれば新東名はもとより静岡バイパスも中部横断道路も遅延してしまうという道路財源一辺倒の論理から、もう一歩進めて国民が素直に了解できる理屈がほしいものであります。

更に国土交通省も意味もない健康器具などを購入したり、或いはミュージカルに補助金を出すなど、兎角の批判をうける愚行は金輪際やめて頂きたいと切にお願い致します。

さて、お隣の韓国のガソリン税が日本より50円も高かったことなど、暫定税率反対を叫ぶ人々の耳には入らないことでしょう。

それにしても、1月末、与党は揮発油税の税率を延長するために、「つなぎ法案」を上程しましたが、ドサクサ紛れのなか、衆参両院の議長の斡旋によって急遽この法案が撤回されてしまい、その後のニュースの焦点は「中国餃子」にとつて代わられ、揮発油税はいつの間にか蒸発(揮発)してしまつたのであります。

嘗て産油国からわが国の揮発油税について、諸外国に比べ安すぎるとのクレームを受けたことがあり、若し今、日本が24円の暫定税を撤廃したなら、環境保護を国是とする諸外国から厳しい非難を受ける事でしょう。

国民に素直で理解できる政治を期待いたします。

長沼、聖一色の地名の由来は……。

梅ヶ島や玉川を起点として発した安倍川は途中、無数の小さな沢から集められ賤機山に沿って勢を増し、一気に駿府の街に向って流れていきました。

その流れも「菖蒲が池」(現在の昭府町)辺りにくると緩やかな流れとなり、それまで一筋の安倍川の流れが井宮神社、通称「妙見さん」(辺りから複雑に分流しています。例えば北川(浅間さんの北側)から麻機沼に注ぐ流れ、また川辺から中原方面に向う川、そして現在の市役所前を通る水路は中堀に注ぎつつ豊田・長沼方面にも流れ込んでいました。

曲金方面に注いだ川は低地に臨んで大きな沼を形成していましたが、水量が増えた際にはここから後久川と大谷川に分流して駿河湾に注いでいました。

広大な沼地は、安倍川の大改修が行われるまでは曲金から栗原まで人々は渡船によつて往来していたと言われています。

それ故、「長沼」の町名の由来はこの沼から発したものと殆どの方は想像しているようですが、実は鎌倉時代、ここを治めていた長沼五郎宗政に因んだものであります。

序に「後久川」の名称について記しておきます。

遙か昔、長沼から国吉田を通って巴川に注ぐこの川は川幅が狭く、雨季を迎えるたびに往生していた住民はある時、官有地の払い下げを陳情、その努力もあつて、首尾よくこれが受け入れられ、川幅を拡幅することができました。そこでこの川の名前を「御給川」と名付けましたが、東海道線の敷設に際して役人が勝手に「後久川」と改名してしまい、今日に至っているのであります。

次に初めての方には戸惑う名称でしょうが、「聖一色」の町名について検証してみましよう。

広辞苑では「一色田」とは莊園制度のもとで、公事を免除され、年貢だけを出す土地と

あります。

「聖一色」の「一色」は恐らくこの「一色田」から誕生した名称の一部でしょう。

では残る「聖」とは何処から？、正直云つて確かな発祥は判つておりません。

郷土史の本の中に、嘗てこの界限に「樋地祇神社」という名前の神社があり、この「樋地祇」が「聖」に変化したのではないかとありますが、「樋地祇神社」がいつ頃、何処にあったのか全く不明で、これをもつて名付けの論拠としては些か舌足らずと考え、困つております。どなたかご存知の方がおりましたら、教えてください。

一寸一言 私の雑記帳から

シーボルトの孫「ただ子」

最近の子供たちの命名は時代と云うのか、私達には判読出来ない珍妙な名前が多い。少子化時代ゆえに親もひねつて考えた結果だろう。

さて、今から200年ほど前、ドイツの医学者シーボルトが来日、高野長英らに医学を教授しました。

滞在中、シーボルトは丸山遊女(長崎の遊里)の桶本たきに出会い、彼女との間に一人娘の「いね」が誕生、その子供が成長して、後に通称「オランダ・おいね」と云われ、我が国初の産婦人科医となりました。

「いね」は外科を学んだ後、産科を学ぶために備前岡山の石井宗謙に弟子入り、7年後、「いね」

が長崎に帰るべく挨拶に行つたところ、無理やり宗謙に犯され、妊娠してしまつたのであります。ただ一度の行為で生れた我が子に「いね」はなんと「ただ子」と命名したのでした。

その後、「いね」は更に学問を積み、宮内省の御用掛りを拝命するなど立派な足跡を残して明治36年、77歳の人生にピリオドを打つたのでした。

一方、「ただ子」は藩主の計らいにより「たか」と改称し、しかしその人生は、自らが言うように混血児「ゆえのイバラの道(本人の表現)を歩むところとなつた。

16歳でシーボルトの門人医師と結婚したものの、12年後、相手は早世、更に医師・山脇泰輔と再婚するも7年後に「死に別れ」となりその後は寂しい余生を送つたという。

「ただ子」は未婚の母の心情を物語る悲しい命名の物語でありました。

山菜で春を感じる

3月に入ると、野山にはさまざまな山菜が芽を出します。うど、たらの芽、ふき、せり、葉わさび…。まだ緑が少ない春先の地面に、元気に顔を出す山菜たちの姿を見つけると、本当にうれしいものです。

山菜の独特の苦味には、抗酸化作用のあるポリフェノールや、新陳代謝を促進する作用が含まれています。昔の人々はこのような科学的な効能は知らなくとも、厳しい寒さに耐え、春の訪れと共にみずみずしい芽を出す山菜に、生命力のパワーを感じていたのでしょう。

山菜には、お店で買うのではなく、自分で摘む楽しさがあります。とはいえ、私有地での勝手な山菜とりはトラブルのもと。ピークの時期には早朝からたくさんの人が押しかけて、地元の人の迷惑になることも。ひとり一人がルールを守って、山菜とりを楽しみましょう。

独特の苦味が苦手という人もいますが、揚げ物にしたり、茹でて和え物にすれば大丈夫。日本古来のヘルシーな旬の味のおいしさを、若い人たちや子どもたちにも伝えていきたいものです。

県議会を傍聴してみませんか？

県議会において、天野進吾が日本平山頂への「コンベンションとカジノ構想」について県知事の見解を尋ねます。

3月5日(水) 午後3時から

静岡県庁本館3階、議会傍聴席にお越しください。事務局職員がお待ちしています。